

## 大学生の能登地域における民俗行事参加による地域活性化効果

学生団体名：学生援農隊めぐり（石川県立大学）

参加学生：市川広幸・志摩優介・梅川栞・伊達彩香・道元俊宏・鈴木純也・豊福希帆 全16名

### 1. 地域活動の概要

能登地域では多くの農村伝統行事が現在も継承されています。しかし、一方で過疎化と少子高齢化による人手不足と後継者不足によって、お熊甲祭りなど地域の伝統行事の継承と維持が危ぶまれています。地域ではこれまでにその対策として、都市農村交流活動による伝統行事振興を試みてきましたが、規模の拡大、リピーターの確保、伝統行事の宣伝が課題でした。そこで、私たち「学生援農隊めぐり」が七尾市中島町で行われる伝統行事への参加者の募集と参加を行い、地域に愛着を持ち、地域貢献に関心を持つ人が増えて、伝統行事振興を助ける事に繋がれば良いと考え今回の事業に参加しました。

### 2. 活動の内容

私たちは、七尾市の中島町で行われるお祭りに、学内での呼び込みとポスターでの掲示で参加者を集めて、横見と小牧の集落の一員として参加しました。参加者募集の際は、能登の良さをたくさん知ってもらいたいと考え、伝統的なお祭りへの参加だけでなく、能登の雄大な自然で釣りなどのレジャーを行い、お祭りで作られるごちそう作りを体験できる事をアピールしました。そして、6月12～13日の虫送りには14人、9月18～20日の小牧白山社秋祭りとお熊甲祭りには7人の参加者を集める事ができました。

参加行事	日程	人数
虫送り	6月12、13日	14人
白山社秋祭り	9月18日	6人
お熊甲祭り	9月18、19日	7人

#### ・虫送り

虫送りとは、うんかなどの害虫を防ぎ、その年の豊作を祈願する目的で行われている伝統行事のことです。能登では昔から地域の伝統行事として盛んに行われ、小牧で行われるものは、鳥越の集落と同時に行われるものでとても珍しいです。私たちは、この伝統行事に14名で参加しました。12日は、小牧壮年団の方たちと松明作りや、虫送りで歩く道の整備などの準備を行った後、外雷太鼓の演奏を披露していただきました。そして、夕方から行われる虫送りに参加しました。13日は、里海ごっつお教室に参加しました。里海ごっつお教室では、



地元の方との虫送りの準備

クルージングで七尾湾に生息するイルカを見学した後、地元の方に魚釣りを教えてもらい、自分たちで釣った魚を調理し、能登の豊かな自然と地域の文化を楽しみました。



ごっつお教室



虫送り

#### ・お熊甲祭り

お熊甲祭りとは、毎年9月20日に行われる、別名「杵旗祭り」「二十日祭り」とも呼ばれる祭りです。この祭りは天狗面をつけた猿田彦が鉦、太鼓に合わせて踊りながら祭りを先導し、集落の男が20mもある真紅の杵旗を担いで練り歩く勇壮な祭りで、国指定重要無形文化財に指定されています。しかし、近年少子化による担ぎ手の不足が起こっており、杵端の減少や縮小といった問題が起きています。私たちは、人手不足といった問題を助けて、民族文化の継承と保全の助けになればいいと考え、7名で参加をしました。18日は、小牧集落の白山社秋祭りに参加し、小牧の方達と御神輿を担いで集落内を練り歩きました。夕方からは他のボランティアグループの学生と合流しました。19日は、午前中に小牧集落の方たちに教えてもらいイイダコ釣りや祭りで使う小道具、杵端の準備を行いました。午後からは、30年ぶりの参加となる横見集落に合流しました。横見集落では、お祭りの道具と御馳走の準備を久しぶりの参加となる横見の方達と進めました。そして夜には、奉幣迎えを行いました。お祭り本番の20日は、参加者の女性は御道具持ち、男性は御神輿を担ぎました。そして、猿田彦を先頭に町を練り歩き、島田崩しを体験しました。



お祭りの小道具の準備の様子



20日祭りの様子

### 3. 今回の活動と評価

私たちは、伝統行事の参加だけでなく、能登の雄大な自然で釣りなどのレジャーを行い、お祭りで作られる伝統的な料理作りを体験できるという点に力を入れました。参加者からは、「釣りや料理などの活動のおかげで地域の方たちとのコミュニケーションが気楽にとれてより一層お祭りを楽しむ事ができた」、「普段の生活でやった事がない事ができていい経験になった」などの意見を聞く事ができ、地域の方とのコミュニケーション、能登の自然、伝統行事を楽しんでもらえたと感じました。このことが地域に愛着を持ち、能登に関心を持つ人が増えて、伝統行事振興を助ける事に繋がると思います。

また、今回の活動が新聞で紹介され、多くの人々に少子高齢化と過疎化によって地域の伝統行事どのような影響を受けるか知ってもらう事ができてよかったです。

今回の活動で、能登の自然、伝統行事を地域の方とのコミュニケーションをとりながら楽しむ事によって、集落の一員となることができる事が小牧のいい所だと感じ、参加者募集のPRになると感じました。

### 4. 必要な事・課題

今後この活動の活発化のためには、活動の継続を行って地域の方々との交流を深める事と、この活動を続ける後継者を育てる事が重要だと感じました。また、釣りや料理などの地域の方との交流、観光などをもちこみ幅広い層の人を集める活動は、地域の方への負担が増えるので綿密な打ち合わせが必要だと感じました。

### 5. 感想

今年は、女性もお祭りに参加できるようになり、多くの参加者に楽しんでもらえてよかったです。地域の一員となりお祭りを盛り上げるという事はとても楽しいです。これからも、大学と地域の交流を続けていきたいです。